

第2回 大阪・関西万博きょうと基本構想検討会 議事要旨

1. 日時・場所

日時：令和5年1月25日（水） 午前10時00分～正午

場所：からすま京都ホテル 3階 瑞雲の間

2. 出席者

【委員】（21名）

山極委員（座長）、安藤委員、ウスビ・サコ委員、尾池委員、岡田委員、岡村委員、小川委員、奥井委員、河合委員、城崎委員、後藤委員、齋藤成雄委員、齋藤茂委員、千委員、田中委員（代理出席）、西谷委員、橋爪委員、平尾委員、村上委員、山地委員（代理出席）、山下委員

【オブザーバー】（2名）

小橋オブザーバー、高田オブザーバー

3. 議事概要

冒頭、座長あいさつの後、事務局から、京都における基本構想策定に向けた体制・進め方や基本構想（案）について説明を行い、各委員から意見をいただいた。

〈座長あいさつ〉

- ・ 大阪・関西万博は、時代の大きな転換期であり、非常に速いスピードで動く世界を先導するようなアイデアを出していきたい。
- ・ 第1回検討会での議論により、一定の方向性は見えてきた。本日は、今後の方針の具体的な中身も議論していきたい。
- ・ 万博を契機に多様なステークホルダーと連携し、京都の総力を結集して京都の未来をつくっていきたい。

〈主な意見〉

- ・ 海外と京都、日本と京都、市町村同士等、様々な「つながり」を意識し、関係者の「共感」を生み出す仕掛けが必要。
- ・ 京都はSDGs先進地であり、構想や取組にもっと反映していくことが必要。
- ・ 未来の京都を担う若手世代に期待したい。
- ・ 京都の学生の力を活かせるよう、組織化することも必要。
- ・ 全体テーマは、海外へもアピールすることを踏まえ、英訳した際の表現を意識すべき。
- ・ ポータルサイトなどを活用した、会期前からの情報発信が非常に重要。
- ・ 関西の文化拠点としての京都の存在意義を示すことができるよう、具体的な動きを対外的に見せていくことも重要。
- ・ 市町村と万博に参加する諸外国との交流を深め、地域活性化につなげる取組を進めてはどうか。
- ・ 全国キャラバンや海外へのアピール等、府域を飛び出した取組を能動的に行っても良い。
- ・ 京都ブースのテーマは、日本館のテーマとある程度関連づけたほうが良い。

以上